
零物語 ~ Myth of The Wind ~

くろぷり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雲物語 〜 Myth of The Wind 〜

【Nコード】

N6515Z

【作者名】

くろぷり

【あらすじ】

雲物語 〜 Myth of The Wind 〜
連載開始です。

アメブロで連載中の作品のリメイク版です。

現代社会と並列で存在する神話の世界。

その舞台で、神々との戦いに巻き込まれる現代社会の若者達。

何故、彼らは神話の世界に辿り着けたのか。

そして、神々と巨人族との争いに巻き込まれる若者達の運命は？

神々の思惑が交差する戦場で、人は自分の気持ちや心を保ち続ける

事が出来るのか・・・？

プロローグ

同じ地球の中にあつて現代社会と異なる世界。

現代社会と並列に存在する世界。

そこは神族・人間・巨人族が共存する世界。

アースガルズ。世界の中心でありアース神族の住む大地。

ミッドガルド。中央の囲いと呼ばれ人間が作り上げた大地。

ヨトウンヘイム巨人族が支配する大地。

何故、神の存在する世界があるのか。

何故、同じ時間軸に2つの世界が存在するのか。

何故、文明社会と対局となる世界が続いているのか。

それらの謎を、少しずつ紐解きましょう。

我々の世界から若者達がミッドガルドに旅立つはるか昔・・・。

現代の北欧神話にも描かれる、アースガルズの悲劇から語っていく事にしようか。

嫉妬する神

数日前より、アース神族の主神オーディンの息子バルドル悪夢を見ていた…………

バルドルは眠ると、決まって戦場のど真ん中に放り出される。

そして抵抗もできないまま自らの体を切り刻まれ、死の直前に現実の世界に引き戻される…………

目覚める度に大量の汗をかき、バルドルは精神的な疲労から、みるうちに衰弱していった。

毎晩のようにうなされ、衰弱していく息子を見ていらなかったバルドルの母でありオーディンの妻であるフォルセティは、これ以上バルドルが悪夢を見ないように、この世に存在するあらゆる精霊と契約を結んだ。

アース神族・人間・巨人族、そして全ての物質がバルドルを傷つけないという契約を…………

フォルセティと精霊の契約により、バルドルはいかなる物でも傷つかない体となった。

主神オーディンの雷槍・【グングニール】、雷神トールのウオーハンマー・【ミョルニル】でさえも、バルドルの体を傷つけることが出来なくなっていた。

バルドルは悪夢から解放され、悪夢を見る前の優しく明るい笑顔を

見せられるまでに回復する。

その穏やかな笑顔に神々は癒され、容姿端麗で性格も良いバルドルの回復に特に女性は心から喜んだ。

さらにオーデインとフォルセティの結婚記念日も近く、アースガルズでは盛大な宴を開催することとなり、アース神族の全ての神が集まってきた。

宴では、酒を酌み交わす者、談笑する者、踊り回る者……

大勢の神々によって活気づき、正に佳境を迎えていた。

そんな中、この宴の輪の外から宴を眺める男がいた……

彼の名は【ヘズ】

主神オーデインの息子にしてバルドルの弟である。

彼は生まれつき盲目で、兄・バルドルと違い控えめな性格だった。

常に多くの神々に好かれている兄を尊敬しているが、その反面バルドルに嫉妬感を抱いていた。

盲目でなければ兄のように自分も両親や他の神々にも認めてもらえたのではないかと……

「兄さんはいいな……」

ヘズはそんな事を思う自分に嫌悪感を抱いていた。

ヘズの他にもう1人離れた場所で宴を眺める男がいる。

男の名は【ロキ】

ロキはふと、自分の腰にかけてある一振りの剣に視線を落とす。

彼の視線の先にあるのは木製の剣で、見た目は軽そうだが剣先は鋭く、まるで何者も貫き通すような矢にも似ている。

さらにその刀身にはルーン文字が刻まれ神秘的な存在感をかもしていた。

ロキは剣から視線を外すと、傍らに座っているヘズにゆっくりと歩み寄った。

そしてヘズに話しかける。

「バルドルはどんな物でも傷付かない体になったそうだな」

ロキの気配を感じ、ヘズは少し体をズラした。

ロキは義兄弟であるが頭が切れ冷酷である為、ヘズは少し苦手である。

「兄さんは父や母、他の神々からも愛されてる。悪夢を見ただけで心配される……けど、オレは違うから……」

そう言うところへズは歓声が聞こえる方に顔を向けた。

彼の表情は先程は違い、嫉妬の念を含んだものに変わっている。

そんなへズにロキは囁きかけた。

「お前の兄、バルドルは傷つかない体になったんだ。あちらでは他の神々が今、正にそれを証明している。お前もやってみろ、今日は宴だ。その位許されるだろ？」

ロキはそう言つと自分の腰から剣を抜くとへズに手渡した。

嫉妬する神（後書き）

バルドル、ヘズは兄弟で、北欧神話の主神、オーディンの息子達です。

そして謎多き神、ロキもオーディンに認められて養子になり、ヘズとは義兄弟の間がらです。

そしてヘズに渡された剣は・・・？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6515z/>

零物語 ～ Myth of The Wind ～

2011年12月21日23時01分発行